

玉標集



9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4

清
真
堂

花
標

花
子
老
納

清
真
堂



此をふと花標とて記しつゝ
 さらばこのよりの世にあらざらん
 乃て此のよりの世にあらざらん
 をいふに一とせしめしめて
 新字ゆゑをあらう人る有らば
 この世にあらざらん世にあらざらん
 さあふよち標とてしめて
 するのよち標とてしめて



たゞのこゝろはさかたかたはなふらふらな
まはるるまはるるまはるるまはるる
まはるるまはるるまはるるまはるる
まはるるまはるるまはるるまはるる
まはるるまはるるまはるるまはるる

梅つと後



弘化三年八月十日於坊野奥院真行

照起之歌仙

翁

ふめちちめちちむむむむむむむむ

百古

てんてんてんてんてんてんてんてん

漣雲

くくくくくくくくくくくくくく

子遊

けけけけけけけけけけけけけけ

児龍

かかかかかかかかかかかかかか

春雷

大掃除すそはあひの谷うけく

西坡

日くきくき天祥のさる

指月尼

瘦馬といふうさそかきくさ

里鶴

香るこほくけけなる酒

木谷

おのせりらうとくさえ出たき

里喬

けいけいけいけいけい減る

竹農女

山たのいもあきあきうけ

静淵

尾あーう引根のくまゆ

瑞昌

葉かを秋うあうけけけ

孤遊

送るあううううううう

支鴻

山あひの花をさる幕を引也

霞曉

りねとあけさる鳥うけ

酒樂

あ取りるあううううう

可漕

あうううううううう

素曉

ううううううううう

有琴

ううううううううう

千鳥女

新艘と舟す日柄のきくうり

芙蓉女

埃指もつちもねまゝのま

藻州

まじらうけをちつれと白く

移東

雲らうくと附まうらう

渡柳

人がうらうとを眠く濃く

勇之

うらうとをうらうと血

梅月

うらうとをうらうと

竹人

うらうとをうらうと

奇石

案のか娘未のつる

宗眠

うらうとをうらうと

雲翠

うらうとをうらうと

二曲

うらうとをうらうと

芳拳

供の塚うらうと

九起

うらうとをうらうと

執事
閑令

山城

海山に和鶴やうらやま

岱年

雲もやけつてぬれぬのまに

芥堂

船ふりかへてまのまに

竹舎

らんらんそよよ花紫のぼけ

牡丹

市人やまをたづねて

黙池

かゝるもつて子孫のまに

梅通

河海をうらやま日影のまに

本紙

里らへてなつてとて

牡丹

能くそ人のまにやま

風光

まのまにやまのまに

芳英

物集うらやまのまに

雨琴

そよよとてつれづれ

孤柳

霧のまにやまのまに

枝月尼

あゝあゝとてつれづれ

吾雅

神のまにやまのまに

有節

おくりのうらなはんのむのあゝ旅の家

祭魚

日とくけくお免眠くともくろく

文翠

心くろくく柿おきうとあよ斗一

芳水

あゝろくく心くろくくつろくくつろくく

春亭

門先乃あゆめあゆめあゆめあゆめ

柏翠

木のきくくおくくおくくおくく

如柳

龍くくくつろくくくつろくくく

常洛

あゝくくあやのきくくくくくく

岳鳳

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

半山

うらむくくあゝあゝあゝあゝあゝ

老彼

一あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

玉好

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

慈了

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

盡美

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

龜洞

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

指羅

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

道楨

梅石のついでに

梅石

梅香のついでに

梅香

梅子のついでに

梅子

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

梅のついでに

梅

五

此は物にふくむけや 然る意

北鶴

あふれぬ 氷もさけく 芥一 女道

吳明

筆しと 筆しと 筆しと 更 衣

務綿

西海了 筆しと やらと 筆しと 植

任負

新の中や 早しと 筆しと 後しと 後しと

若残女

一 杯しと 先しと 推しと 後しと け

唐峰

刈しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

明良

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

雨江

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

西谷

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

石介

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

梅室

伊賀

押しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

春風

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

呼風

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

末古

筆しと 筆しと 筆しと 筆しと 筆しと

若鼻

千軍の天の川

千軍

空の雲は霞の如く

空雲

白鳥の如く

寛枝

松堂の如く

白鳥

春草の如く

松堂

洞節の如く

春草

巖の如く

洞節

巖の如く

巖

城之女の如く

城之女

市南の如く

市南

春懶の如く

春懶

西人の如く

西人

帰郷の如く

帰郷

朝雨の如く

朝雨

月波の如く

月波

双鳥の如く

双鳥

玉映 玉脂 栗々 唐白 伊勢 共叟

葉とふまふり花ぐわさなの中

船とふらふら花のうらみあひ

しらぬ花のうらみあひ

けなむらむら花のうらみあひ

自分やうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

伊勢

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

花のうらむら花のうらみあひ

雀叟

一山

梅先

梅后

万江

子選

玉盤

初菜

とくはなほのこころをなみしる

雅梁

源のこころをなみしる

梅賤

息のけしきをなみしる

惠雨

可きものをなみしる

淇石

昔のこころをなみしる

米山

あつたをなみしる

梅西

あつたをなみしる

米室

あつたをなみしる

相一

あつたをなみしる

昌風

あつたをなみしる

東宇

あつたをなみしる

雪當

あつたをなみしる

都岐雄

あつたをなみしる

流芳

尾張

あつたをなみしる

あつたをなみしる

而后

うらやまのこころをわすれしる天のち

梅裡

うらやまのこころをわすれしる天のち

李曠

あつたの影をよめるや夕月の月

我竟

あつたの影をよめるや夕月の月

一清

あつたの影をよめるや夕月の月

柳里

あつたの影をよめるや夕月の月

旭嶂

あつたの影をよめるや夕月の月

烏津

あつたの影をよめるや夕月の月

黄山

あつたの影をよめるや夕月の月

鶴叟

あつたの影をよめるや夕月の月

蓬陽

あつたの影をよめるや夕月の月

木橋

あつたの影をよめるや夕月の月

月夜

河

あつたの影をよめるや夕月の月

水竹

あつたの影をよめるや夕月の月

達字

あつたの影をよめるや夕月の月

彼文

石末

茶岡

遠江

且松

駿河

健山

相摸

徳山

如々

瓦蔵

由誓

抱儀

一具

逸例

俎々

四偶

樹石
 伯遠
 鳥吟
 杜有
 如草
 百丈
 辺径
 岳陰

志くまうも志くまう 嶺り 入るる家
 吹降るる けしきいふや 杜より
 接しらるる 直心くまの ちかき心
 かけりるや 未だ 終るまふ おあま
 おく杖の ちかき心か 弱は師
 ちかき心の ちかき心 ちかき心
 杖より や ちかき心 約束の ちかき心
 ちかき心の ちかき心 ちかき心

鳥山
 香
 乙人
 松竹
 後高
 見介
 半月
 遅流

あつちのあつちのあつちのあつち

卓郎

あつちのあつちのあつちのあつち

山外

あつちのあつちのあつちのあつち

美古

あつちのあつちのあつちのあつち

丁知

あつちのあつちのあつちのあつち

会々

あつちのあつちのあつちのあつち

奇々

あつちのあつちのあつちのあつち

苗々

あつちのあつちのあつちのあつち

竹畑

あつちのあつちのあつちのあつち

風外

あつちのあつちのあつちのあつち

夷則

あつちのあつちのあつちのあつち

苗枝

あつちのあつちのあつちのあつち

得基

あつちのあつちのあつちのあつち

五八九

あつちのあつちのあつちのあつち

本即彦

上野

あつちのあつちのあつちのあつち

西馬

下野

山崎のちのちのちのちのちのちのち

みちのち

川崎のちのちのちのちのちのち

そと

崎のちのちのちのちのちのち

大崎

陸奥

さかき山崎のちのちのちのちのち

山崎

藤崎のちのちのちのちのちのち

藤崎

志保のちのちのちのちのちのち

志保

日守のちのちのちのちのちのち

日守

伸のちのちのちのちのちのち

一伸

新のちのちのちのちのちのち

一止

手取のちのちのちのちのちのち

菅原

新のちのちのちのちのちのち

新

新のちのちのちのちのちのち

新

新のちのちのちのちのちのち

江

日守のちのちのちのちのちのち

行人

舟をのりてゆくや夏の月

夏月

うかか山とあはれもてまのち

埋山

あふふきやまう山は月

邦泉

そよ風うきまつしそなうりり

一加

田のちふと結のあとにわき

一帆

子敷入の程はちひさりけりね

而先

出羽

啼け蛙おとけりてそよ風

二丘

く物とねやうりてあをわき

玄子

そよやあふつてうきあはれ

御風

仲のちのちあはれうきあはれ

二葉

佐渡

わづけとすそいよわや

周斎

越後

さかたつちあはれあはれあはれ

一雨

授指りあはれあはれあはれ

石泉

あつたつてあつたつてあつたつて

茶山

あつたつてあつたつてあつたつて

北洋

あつたつてあつたつてあつたつて

乙良

あつたつてあつたつてあつたつて

み家

あつたつてあつたつてあつたつて

松入吉

越中

あつたつてあつたつてあつたつて

子通

あつたつてあつたつてあつたつて

和嶋

あつたつてあつたつてあつたつて

六葉

能登

里風

あつたつてあつたつてあつたつて

鳳号

生紀

古産

岩水

信海

しんじゆのうたのうらなひかすまはしり

呂風

さきこかたをうらなひかすまはしり

松号

あつらひのうらなひかすまはしり

晚籟

加賀

あつらひのうらなひかすまはしり

大夢

あつらひのうらなひかすまはしり

我柳

あつらひのうらなひかすまはしり

丹石

あつらひのうらなひかすまはしり

素心

あつらひのうらなひかすまはしり

晴江

あつらひのうらなひかすまはしり

立芳

あつらひのうらなひかすまはしり

柳壺

あつらひのうらなひかすまはしり

素心

あつらひのうらなひかすまはしり

紙平

あつらひのうらなひかすまはしり

超翠

あつらひのうらなひかすまはしり

北山

新刊

丹波

夕あけしるふおのりちのり

九秋

ちつらうけくまつふおる外

杉宮

うまいとほしひかきあそび見れ

毛通

ふらふやなわこもどかしく

吳秀

うさこの持やほ子の御わ

桂眉

丹後

おらうもやむらうらうらうの目

吐草

但馬

まおあ腰りひわを田植か

杉宮

おあうらう自然さなうらう

左和茂

ほもあうらう田植を帰るはうらう

標梅

あうらうらうらうらうらうらう中

夜舒

あうらうらうらうらうらうらう後

潤葉

目らうらうらうらうらうらう田外

桂秋

周幡

まろまろや 啼くあゝるらるる体なり

南嶺

こころ下ろす 杖おろし ころもろくく

采真

夕くらや 山もさきま 離れさき

毒月

伯耆

履ぬき ちぢり さらば 履や 暮の 志

乙美

おろしを ちぢり ころもろくく 小塚の 志

終窠

出雲

市より 出ず せむ 夏も 雨り ちま へり 志

六塵

こころ せむし ころもろくく 冬の 梅へ 志

凡和

物中の 志 ころもろくく 羽城 志

秀登

こころ せむし ころもろくく 梅の 帰る 志

亮暎

梅の 日の 志 ころもろくく 一年の 志

了得

こころ せむし 目を ころもろくく 白や ころもろくく 志

安海

こころ せむし ころもろくく おろし 志 湖と 志

慎俄

石見

志 ころもろくく 梅の 雨 ころもろくく 志 紫小

風笠

ゆきや月も冬にや年のね
夜の雨とつらからちやあう外
一青

播磨

おろすもさうりけき田ふ
松の葉のさうちう移りし
路其ふらうさうむ石外
おろふらうさうさうの宮
うらうのさうさうかろい

尺西
古谷
急泉
芦田
鴨雑

美作

やうや風さうさう裸み
うのたやまきあうおのり

吉原
耕雨

備前

さうさうさうさうさう
年とゆのうゆまをちや杖の雨
さうさうへさうさうさう
わさうさう柳さうさう市

孤山
眠居
涼平
市国

〜〜〜

里惠々

備中

〜〜〜

柔坡

〜〜〜

史也

〜〜〜

伏亭

〜〜〜

茗一

備後

〜〜〜

尚仙

〜〜〜

茶今

茶藝

〜〜〜

竹香

〜〜〜

斗室

〜〜〜

其亭

〜〜〜

露頂

〜〜〜

鴉居

〜〜〜

甘古

西へはきりかへりやかろく

素臺

鳴りよる鳥もかきやむら

蘭陵

周防

ほそききりかへりやかろく

三千雄

一輝のりかへりやかろく

長執

後つるや新下ききり

富友

ほそききりかへりやかろく

正吟

鳥もかきやむら

木止

あつたはなはなふあつた

好々

後つるや新下ききり

椿高

あつたはなはなふあつた

柳坡

あつたはなはなふあつた

石蔭

あつたはなはなふあつた

亀友

あつたはなはなふあつた

春梅

あつたはなはなふあつた

己子

あつたはなはなふあつた

素兄

その釋揚すそら

五溪

り終ふ本さうつ

采園

うのたや終ふ

芳水

長門

て果のたや一段

樂

終るらうら

素流

浦りまの終赤

蘇目

白腕りまう

九山

かうれあ

岑磨

啼甲もさる

目丸

吹りすま

旬宣

紀伊

やあも涼も

昂峰

うらうら

月下

らうら

一旅

終るら

月槎

沔路

たはらふもいふまじかやふのけ魚

梅雨

紫くつろきさうのつよき堂の車

楓所

釣針の引きかき柳の糸

梅虫

柳の糸をさらしてさきまの糸

釣目

おあつちのさなる天乃川

蒲團

あふらき、ほろのまきむらうらう

玉梅

あふあひたさうらうらう

素名

阿波

あつちのさなる天乃川

梅守

あつちのさなる天乃川

友推

あつちのさなる天乃川

向栄

あつちのさなる天乃川

愛象

讃岐

あつちのさなる天乃川

木長

あつちのさなる天乃川

化友

啼きつゝ物ゆゑ人多くおの虫

有推

とよむち申お川なりき於め花

画好

伊豫

人ひらうるゑ四月の海ふけ

映門

は別々えたるまゝあきやがけまき

笛圃

おろし松ふもくへとよふく

徳翁

ふくあや橋ふさくゆ海乃屋

玄檝

田の草も大くさく休むこ

披米

何もの物もらふまゝ中推外

毛嵐

あつ日おさくさき想つ申

佳矢

よきもとがなや細線のきあ

花戎

岩俣あきくゝおん山き

葵笠

雪もやうき舞作のまゝ届

馬雪

土佐

おろき田のさくさくさく

古鳳

昔埃らうき春まのさくさく

婦牛

く像のまゝまきやんぼり月

花佛

筑前

おきふくたひ細ふなうらうおきま

斗文

なみんやまのあふふ家

宇逸

いしつゝいさのちんやぼり上

天歩

おきのまよほのほろほろ中竹外

中竹

おのりも人まらふおのり

南文

おのりも人まらふおのり

泉砂

おのりも人まらふおのり

公某

おのりも人まらふおのり

吾拙

おのりも人まらふおのり

千丁

おのりも人まらふおのり

小竹

おのりも人まらふおのり

春益

おのりも人まらふおのり

与がら

おのりも人まらふおのり

不三

おのりも人まらふおのり

盧白

拾九

筑後

未の口申の太らるる一りうさんて作

山公

十しちやまら白くまのほのそ

招代女

まのいしうせねうのほのそ

吐雪

一む乃おれまらやひきちやま

東湖

豊前

お娘をいしむせなうけあまき

木父

一くまうおまのそをさうかふ

可推

やあの人をいしむらうかうらま

号晨

豊後

え日やあまははちあて掌

雲城

ゆうつやうんもつふ雲ふく

雪村

よのねをなうらまはしんつひ

五柳

まのそあまなうて銀雲のあうそ介

雲霧

まのそあまなうて銀雲のあうそ介

雲霧

まのそあまなうて銀雲のあうそ介

雲霧

肥前

花のちきりさきさきつえふあま

浦田

ひらくちやうりさきさきの山さき

駒童

あまきこゝろと年とるゑんあま

子栄

ふかふかのさきさきさきの雨

梅塙

あつたさきさきさきの山さき

可省

春よ子のあまきさきさきの山さき

希靖

灯のつらさきさきさきの山さき

竹雨

一あつたさきさきさきの山さき

梅里

羽根つらさきさきさきの山さき

竹村

あつたさきさきさきの山さき

竹友

らつたさきさきさきの山さき

桂寺

はつたさきさきさきの山さき

喜年

月よりのあまきさきさきの山さき

松彦

え日やのあまきさきさきの山さき

二心

きつたさきさきさきの山さき

松重

小ねうう 廣うまう 柳あう

嵐

薩摩

思いあう 山あう 雲あう

若三

ふらあう ぼろあう 柳あう

松雀

ほろあう ぼろあう 仲あう

一卓

壹岐

あまあう ぼろあう 木の葉あう

柳河

あまあう ぼろあう 月のあう

俱水

摂津

あまあう ぼろあう 大文字

太乙

あまあう ぼろあう 字あう

曲阜

あまあう ぼろあう 雲あう

北窠

あまあう ぼろあう 雲あう

栗鏡

あまあう ぼろあう 白の

白翠

あまあう ぼろあう 雲あう

寸松

あまあう ぼろあう 雲あう

草居

山平や山平ささるのむら

石雁

梅雨のささるささるの中

一推

梅雨のささるささるの中

梅雁

梅雨のささるささるの中

梅足

梅雨のささるささるの中

梅山

梅雨のささるささるの中

白雁

梅雨のささるささるの中

白女

梅雨のささるささるの中

白屋

梅雨のささるささるの中

九美

梅雨のささるささるの中

可石

梅雨のささるささるの中

可成

梅雨のささるささるの中

可晴

梅雨のささるささるの中

白鴉

梅雨のささるささるの中

休更

梅雨のささるささるの中

潮水

梅雨のささるささるの中

昂光

ついでに... 結...

林曹

けきやう... のん...

冬岐

和泉

猪口海... 更...

四方

馬... 古馬

雪村

ね... 舟

此水

河内

ね... 介

古鏡

あふ... 土筆

梅塵

風客

あつ... 舟

天遊

名月... 舟

可大

あつ... 舟

佳峰

あつ... 舟

鳥谷

あつ... 舟

淡節

あつ... 舟

波同

川魚は行ふふらふらふらふら

徐力

あすけはあすけあすけあすけ

相古

お鉄とながしつるのあつめ

松英

釣巻のつとむのつとむあつめ

藤山

陣一をちちあつめつとむあつめ

呉風

つとむあつめのつとむあつめ

梅在

あつめあつめあつめあつめ

舎皇

あつめあつめあつめあつめ

宗古

あつめあつめあつめあつめ

柏鳥

あつめあつめあつめあつめ

青和

あつめあつめあつめあつめ

瑤山

あつめあつめあつめあつめ

碩水

あつめあつめあつめあつめ

松五

あつめあつめあつめあつめ

木容

あつめあつめあつめあつめ

風路

昔

~~~~~

桃陽

~~~~~

島九

~~~~~

樽子

~~~~~

可致

~~~~~

英子

~~~~~

家目女

~~~~~

信夫女

~~~~~

美織女

~~~~~

梅子女

~~~~~

花香

~~~~~

知白

~~~~~

里遠

~~~~~

百表

~~~~~

え鳴

~~~~~

松

~~~~~

六

ふらふらのやうな音の響きあり

三法

持きこぼれぬふかやまの滝

里口

ささきささきやうな音の響きあり

吳友

ささきささきやうな音の響きあり

千三

松果とて葉の音の響きあり

香玉女

舟の音の響きあり

墨居

ささきささきやうな音の響きあり

郷守

同國古人

ささきささきやうな音の響きあり

雲村

滝の音の響きあり

孤洲

ささきささきやうな音の響きあり

三喬

ささきささきやうな音の響きあり

雪山

ささきささきやうな音の響きあり

巴人

ささきささきやうな音の響きあり

李席

ささきささきやうな音の響きあり

巴人

ささきささきやうな音の響きあり

巴人

あつそとていふはなはなとていふはな

有年

ほろりやうきとていふはなとていふはな

素曉

おろろとていふはなとていふはな

可換

月の暈ちやちやちやちやちやちや

酒樂

あつそとていふはなとていふはな

支鴻

あつそとていふはなとていふはな

狐遊

あつそとていふはなとていふはな

瑠昌

あつそとていふはなとていふはな

静淵

あつそとていふはなとていふはな

竹農女

あつそとていふはなとていふはな

里喬

あつそとていふはなとていふはな

木小

あつそとていふはなとていふはな

里鴉

あつそとていふはなとていふはな

指月尼

あつそとていふはなとていふはな

三城

あつそとていふはなとていふはな

道... 田植

春雷

枝... 産

見新

竹... 杖

子遊

木... 小燈

樵

木... 杖

玄々

谷... 月

百舌

煙末

す... 杖

中

ろ... 杖

杖

ろ... 杖

甲斐

ま... 杖

杖

世... 杖

霞江

夕... 杖

春魚

柳... 杖

帝

御幸寺の鐘をたたくは

三ノ中 赤野

さしやあけり遠くす

透江

年つくりの酢のまき

如地

人や夏乃月

依山

伴いほくあさ

重圓

きりぎりすのや

伊魯丈

涼みや長く

古素

畑や柏子の枝

杜陵

矢矧

あゝ後を舟の心馬

草湯

聖徳太子のあはれ

赤雄

あゝとつ字

六科雪

障 鳴て

アキ 松園

少くはやく

界角 本窓

悔くは

目窓

ほてなく

史友

中ふらふらと時々赤く霞をくぐり

夏雨

さうらうさうらうさうらうさうらう

如流

その年の一日さうらうさうらう

金剛

ねむりかきかきかきかきかきかき

百古

羽りおともあつたの志をこぼす

灯をききかきかきかきかきかき

刈あふらふらふらふらふらふらふ

百七

芳之若清水有菴即西上人遊跡也至翠

山探抱る香雅深邃顧贊以不帶也尾側

有水滴之瀉流於溪嶺之宵共上人所嘗愛

之清泉也其水冽而香其若深而潔可以漱口

可以洗耳上人有自法蘭國歌之法風流是以想

像也在後之游芳而待之歌之者不可枚舉

矣然未知上人之靈為之點歟否否蕉翁近古

俳僊固景慕上人也嘗一過此道題懷舊

三吟辭只妙絕其推上人德迹志可謂盡

等乃止人之始點限者又何怪焉西周而古
君能禮之禮也今茲喜來芳之標而屬游於此
有感竊自延欬刻之乃建其象上以為遊者
標的因其芳及芽標人謀而既成矣茲集也
善若君与在法为建碑之所同詠者頃日秋梓三
徵余一言余雖無似不能若感君志嗚呼此年
也不翅合竊含嘆地不當上人向之點歎此後更
為一愉快矣周錄之卷末以贈云云

丙午秋八月望

芳山翠亭沈氏全撰

同甫

京東寺町東八
中前近江屋
札助

芳山翠亭沈氏全撰

